

国分寺市社会福祉だより

インターネットで検索!

国分寺市社協



https://www.ko-shakyo.or.jp/



ふくし



COUNCIL OF SOCIAL WELFARE KOKUBUNJI

「令和元年度台風第19号」等により亡くなられた方々に哀悼の意を捧げますとともに被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

12月1日
スタート!

令和元年度 歳末たすけあい・地域福祉活動募金 ～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

今年も12月1日より、歳末たすけあい運動が始まります。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

募金の使いみち

平成30年度にご協力いただいた募金は、令和元年度地域福祉活動費として、下記の事業に活用しています。

- ▶国分寺ふくし交流支援事業
- ▶ひとり暮らし等 高齢者地域交流事業
- ▶ここねっと推進助成事業
- ▶市民への地域福祉 情報提供事業
- ▶高齢者への支援事業 ※1
- ▶ボランティア活動 推進事業 ※2
- ▶生活困窮者支援事業 ※3

このポスターは、社会福祉法人はらからの家福社会「さつき共同作業所」の利用者さんの作品を使用させていただきました。



募金方法

- ▶自治会・町内会を通じて
- ▶募金箱へ
市内の企業・商店会・薬局等に設置
- ▶街頭募金で
日 12月1日(日)
午前11時～午後1時
場 国分寺駅
- ▶社協窓口へ直接
月曜日～金曜日(祝日を除く)
午前9時～午後5時
●事務局(福祉センター内)
※12月21日(土)は臨時開館いたします
●ボランティア活動センター
●権利擁護センター
※募金には税制上の優遇措置があります。詳しくは社協までお問い合わせください。
※募金は任意で強制ではありません。

下記のような事業に活用させていただいております。

長寿のお祝いに ※1

長寿のお祝い品の贈呈に活用させていただきます。9月7日に国分寺市内の高齢者の長寿をお祝いするため、当会会長が市長とともに、国分寺市内在住の高齢者を訪問しました。令和元年度に100歳を迎えた方31名にひざ掛けを、100歳以上の方29名に煎茶の詰め合わせを記念品として贈呈しました。

「国分寺の未来を考えるシンポジウム」の開催に ※2

ボランティア活動センターが平成26年度より毎年行っているシンポジウムの開催に活用しています。運営委員会が中心となり、市内の中学生等と一緒に「国分寺の未来」について考えます。防災をテーマにした企画は今年で3回目となります。今年度の企画の詳細は8Pをご覧ください。

社協独自のフードバンク事業に ※3

自立生活サポートセンターこくぶんじの相談者で、様々な要因により一時的に生活が成り立たなくなった生活困窮世帯への緊急的な支援として、食料支援(フードバンク事業)を行っています。この利用をきっかけに、意欲的に自立を目指した生活を始めた方もいます。

年末年始のご案内

本会では、下記の期間を年末年始のお休みとさせていただきます。あらかじめご了承ください。
令和元年 12月28日(土) から 令和2年 1月5日(日)
国分寺市ファミリー・サポート・センターは令和元年12月29日(日)から令和2年1月3日(金)までお休みとさせていただきます。

平成31年度（令和元年度）「社協会員会費」中間報告とお礼

10月18日現在：総額 5,974,300円

社協の会員（サポーター）として多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

会員会費の受付は、年間を通して行っておりますので、引き続きのご協力を何卒お願いいたします。

紙面の関係上、すべての会員の皆様を掲載できませんが、福祉特別功勞会員、法人会員、団体会員（10,000円以上）の皆様は、下記の表にてご紹介させていただきます。

福祉特別功勞会員

（順不同）

株式会社 丸福商事様	200,000 円	オザキエンタープライズ株式会社様	100,000 円	東京国分寺ロータリークラブ様	170,000 円
有限会社 英様	100,000 円	一般社団法人 国分寺市医師会様	100,000 円	匿名	100,000 円

法人・団体会員

（順不同）

東栄会地蔵尊様	80,000 円	有限会社 アクティブサポート デイサービス カーム・なみき様	10,000 円	知念医院様	10,000 円
東京国分寺ライオンズクラブ様	80,000 円	国際文化理容美容専門学校国分寺校様	10,000 円	社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホームミナ様	10,000 円
東京武蔵国分寺ロータリークラブ様	76,000 円	戸倉工業 株式会社様	10,000 円	税理士法人 M I R A I 合同会計事務所様	10,000 円
東京むさし農業協同組合 国分寺支店様	50,000 円	ツクイ恋ヶ窪様	10,000 円	社会福祉法人 幹福社会 ヘルプ協会国分寺様	10,000 円
宗教法人 国分寺様	50,000 円	株式会社 みずほ銀行国分寺支店様	10,000 円	社会福祉法人 桑の実会 国分寺Jキッズステーション様	10,000 円
リオン 株式会社様	30,000 円	社会福祉法人 けやきの杜様	10,000 円	ぶんじ 一小地域 OB 会様	10,000 円
一般社団法人 国分寺市薬剤師会様	30,000 円	読売センター国分寺様	10,000 円	社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会様	10,000 円
健康マージャン友の会様	20,000 円	社会福祉法人村山苑 ひよし保育園様	10,000 円	有限会社 前田工機研究所様	10,000 円
東元町商店会様	10,000 円	一般社団法人 国分寺市歯科医師会様	10,000 円	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ様	10,000 円
特定非営利活動法人 あおぞら様	10,000 円	宗教法人 妙法寺様	10,000 円	鉄道情報システム 株式会社様	10,000 円
社会福祉法人 Ann Bee 様	10,000 円	国際ソロプチミスト国分寺様	10,000 円	東京経済大学様	10,000 円
特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャブ運営委員会様	10,000 円	社会福祉法人 ななえの里様	10,000 円	特定非営利活動法人 グリーンハート みつばち様	10,000 円
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会様	10,000 円	多摩信用金庫国分寺支店様	10,000 円	社会福祉法人桑の実会 桑の実西国分寺保育園様	10,000 円
社会福祉法人 にんじんの会様	10,000 円	北多摩東地区保護司会国分寺分区様	10,000 円		
有限会社 やしの木様	10,000 円	医療法人社団 緑杉会様	10,000 円		

あたたかいご寄附ありがとうございます

（令和元年8月1日～9月30日まで）

株式会社 コモダ印刷様	21,765 円
東京土建一般労働組合小金井国分寺支部様 （住宅デー会場での募金）	35,710 円
国分寺稲門会様	30,000 円
国際ソロプチミスト国分寺様 （25周年記念式典内寄付）	50,000 円
社会福祉法人ななえの里 ともしび工房様 （ふれあい募金箱）	521 円
故 内野 孝治様（元 本会会長）	非公表
匿名（3件）	201,064 円

義援金の受付について

社協窓口（事務局（福祉センター内）・ボランティア活動センター・権利擁護センター）では、下記のとおり義援金の受付を行っております。

皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

義援金名称	受付期間	送金先
令和元年8月 佐賀県豪雨災害義援金	令和2年 2月28日まで	佐賀県共同募金会
令和元年 台風第15号千葉県災害義援金	令和元年12月27日まで	千葉県共同募金会
令和元年 台風第19号災害義援金	令和元年12月27日まで	中央共同募金会

問 総務係：042-324-8311

食事付き賃貸マンション
 小金井市・国立市・八王子市
 川崎市麻生区・相模原市中央区
 保証人不要・管理人常駐の安心感
 家賃・管理費・食費・水光熱費含む
 月額 **106,000円** から！
 OASIS **TEL 042-540-8166**
 NPO法人 **オアシスらんど**

東京都 福祉人材センター
 多摩支所
 福祉のお仕事をの際は、どうぞご利用ください！
 ● 受付時間：月曜～金曜 9:00～17:00
 土曜・日曜・祝日 9:00～11:30、13:00～17:00
 ● 休館日：土曜、日曜、年末年始（12/29～1/3）
 〒206-8502 東京都多摩区稲城2-34-13 マリンビル3階307号
TEL.042-595-8422 FAX.042-595-8432

JR 立川駅北口より徒歩5分

自立生活サポートセンターこくぶんじ

国分寺市在住で、失業や離職、病気などさまざまな経済的問題とあわせて、生活していく上での問題などを抱えた方のための無料相談窓口です。

自立生活サポートセンターこくぶんじ

問 TEL：042-324-8311 月曜～金曜日（祝日は除く） 午前9時～午後5時まで
※必ず事前連絡の上、ご来所ください！

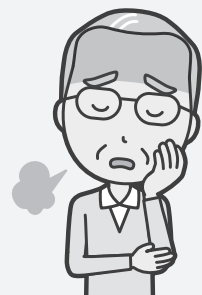


家計改善支援事業が4月から始まりました！

家計改善支援事業とは、計画的な家計のやりくりができず、毎月の家計が赤字になっていたり、借金の返済に追われていたり、税金の滞納があって困っている方に、家計の状況を明らかにして、相談者とともに生活再建に向けたお手伝いをする事業です。まずはお電話にてご相談ください。

具体的な支援例

相談例(1)



一人暮らしの男性。
市役所から税滞納のため、財産差し押さえの通知がきた。光熱費も滞納気味。生活費も不足分をキャッシングしているため、毎月返済に追われている。毎月いくら使っているかわかっていない状況。

支援内容

- ①月々の収支を聞き取り、家計表を一緒に作成する。
- ②滞納している税金は、支援者が市役所へ同行し、一緒に作成した家計表を見せながら分割納付の相談をする。
- ③債務の相談をするため、弁護士事務所に予約を取り同行する。
- ④家計表をもとに、赤字改善に向けて家計計画表と家計再生プランを相談者とともに作成する。
- ⑤計画的なお金の流れを「見える化」するために、1年間のキャッシュフローを作成する。
- ⑥継続的な面談を通して、相談者に寄り添いながら黒字に転換できるように支援する。

結果



- 滞納していた税金も計画的に返せるようになった！
- 弁護士に相談した結果、債務の返済金が減額になった！
- 家計表を作成して現状を自覚できた！
- 支援者が一緒に考えてくれるので頑張ろうという気持ちになり、家計も黒字にできた！
- お金の余裕が生まれたことで精神的にも前向きになれた！

相談例(2)



夫婦と中学1年生の子どもを持つ3人世帯。
家賃が高く、生活がぎりぎり。今後進学時の費用も必要だが学費の捻出が難しく、貯金をする余裕がない。

支援内容

- ①月々の収支を聞き取り、家計表を一緒に作成する。
- ②家計表をもとに、収支を明らかにし、円グラフを使って「見える化」することで、家計の現状を分かりやすくする。
- ③光熱費やレジャー費・外食が家計を圧迫していることがわかる。
- ④貯金に向けて相談者とともに家計計画表と家計再生プランを作成する。
- ⑤計画的なお金の流れを「見える化」するために、1年間のキャッシュフローを作成する。
- ⑥継続的な面談を通して、相談者に寄り添いながら毎月貯金できるように支援する。

結果



- 家計表を作成して現状を自覚できた！
- 支援者が一緒に考えてくれるので頑張ろうという気持ちになり、貯金ができるようになった！
- 家計を見直したことで、子どもの高校入学に向けた貯金ができるようになった！
- 低家賃の住宅への引っ越しも検討中。

つながる、支える地域のチカラ vol.8

「市民後見人」の活動を多くの方に知っていただくために、受任経験者4名と権利擁護センターこくぶんじ運営委員長の足立弁護士をお招きし、座談会を開きました。

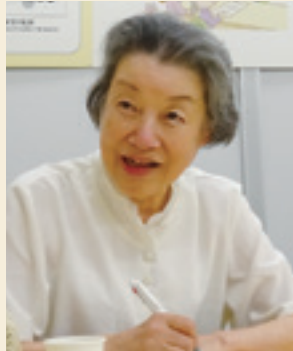
「あなたで良かったわ」の言葉が励みに—

社協: 受任して良かったと思ったエピソードはありますか？

木田: 偶然ですが、被後見人とは以前からお付き合いがあり、驚きましたが嬉しかったです。被後見人は言葉も少なくなっていました。人となり（平成17年度修了、3件受任）や生活歴が分かっていたので良かったです。とてもおしゃれな方だったので、火葬の時にはお好きだった着物を用意してお見送りすることができました。

松本: 協力してくれる身内がいたり、親族はいないけれど大家さんが親身になってくれたり、私は人とのめぐり合わせが本当に良く、いつも助けられました。

楠: 被保佐人の深いところまで関わるため、とても強い刺激を受け、受任して良かったと思っています。被保佐人は言葉が少ない方でしたが、「あなたで良かったわ」と言ってくれたことは嬉しかったです。



松本さん

（平成17年度修了、3件受任）

小山: 被保佐人に初めてお会いした時、とても感じが良く趣味などの共通点も多かったことも引き受けるきっかけになりました。

「正解がない」ことに寄り添う—

社協: 一方、大変だったことは？

松本: 報告書が大変でした。パソコンが苦手（笑）。でも社協が色々準備してくれたので頑張りました。

足立: 専門職でも報告書作成は大変です。期限を過ぎるとすぐに家裁から怒られます（笑）

松本: 市民後見人は3か月に1回、**監督人**※1の社協に事務報告書を提出しますが、3か月って本当にあっという間で。

楠: 被保佐人はほとんど話さない方だったので、終了した今となっては本当に理解できていたか悩ましいです。被保佐人は遺言作成や施設の変更など気持ちが大きく揺れる方で、その後の生活を大きく左右することなので、常に「怖さ」がありました。でも社協から「正解はない」と言われて救われました。

「怖い」と思えることが強み—

足立: 「怖い」と思うことはとても良いと思う。それはきめ細やかに、充実した活動ができているということ。専門職として後見業務を行っているとしても1人に関わる時間が限られてしまうので、被後見人に寄り添って悩む

ことは市民後見人の強みだと思います。

小山: 養成研修※2でも市民後見人に求められているのは**身上監護**※3だと言われたことが記憶に残っています。悩みながら、考えながら、今後やっていきたいと思っています。

松本: 私もこの施設でいいのかなと悩んだことはありました。本人が決めたので尊重しましたが、本当はどう思っていたのかと今も考えます。

木田: そうですね。もっとコミュニケーションが取れると良かったなと思います。

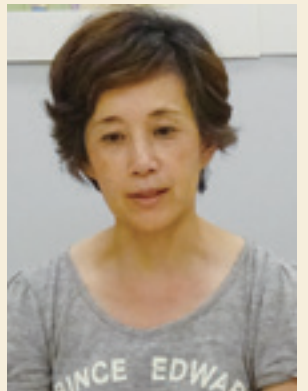
楠: 生い立ちも知らず、どんな生活をしていた方なのかイメージもできないと大変です。その点、**生活支援員**※4から継続して関われるのはすごくいいと思います。理想ですね。

社協への期待—

木田: 成年後見制度は消費者被害に遭った方などを救える制度です。ぜひ多くの市民や関係機関の職員等にも関心を寄せていただきたいです。

松本: そうですね。啓発活動はぜひ市や社協からどんどん発信して欲しいですね。

楠: 社協が**法人後見**※5を行って、その担い手として市民後見人を活用して欲しいです。



楠さん

（平成24年度修了、1件受任）

発足しました！「国分寺市社会福祉法人連絡会」

6回の準備会を経て、国分寺市内の社会福祉法人による「国分寺市社会福祉法人連絡会」の発足式が11月9日（土）開催されました。会長には、社会福祉法人万葉の里理事長の古橋耕二郎氏が就任されました。また、副会長、幹事、会計監事に別表のように市内の福祉法人の方々が就任しました。事務局は、国分寺市社会福祉協議会で担当します。

法人連絡会としての活動のスタートは、令和2年2月23日（日）、リオンホールで「国分寺福祉のしごと相談・面接会」を開催します。福祉のお仕事をしてみたい方は、ぜひお越しください。予約等は一切不要です。

今後、幹事による役員会を中心に、国分寺の地域福祉の向上にどう社会福祉法人が貢献できるか検討し実践してまいります。

また、「児童部会」、「高齢部会」、「障害部会」の分野ごとの連携をすすめてまいります。

法人連絡会のHPも開設いたしますので、ぜひご覧ください。

役職	氏名	所属
代表	古橋耕二郎	社会福祉法人 万葉の里
副代表	北原輝久	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
副代表	織戸小百合	社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会
副代表	鈴木亮一	社会福祉法人 普門会
幹事	高木智匡	社会福祉法人 浴光会
幹事	田中幸次	社会福祉法人 心会
幹事	小山一郎	社会福祉法人 ななえの里

役職	氏名	所属
幹事	伊澤雄一	社会福祉法人 はらからの家福祉会
幹事	木下るみ子	社会福祉法人 AnnBee
幹事	諏訪逸	社会福祉法人 至誠学舎立川
幹事	伊藤祐司	社会福祉法人 にんじんの会
会計監事	関口幹雄	社会福祉法人 千春会
会計監事	土井満春	社会福祉法人 けやきの杜

～成年後見制度の身近な担い手「市民後見人」～

これから市民後見人を目指す方へ

木田: 色々なことに関心を持って、地域の方と仲良くお付き合いして欲しいです。何かしら繋がりがあがり、いつか巡り合わせで出会いがあるので。誰もが安心して暮らせる街になって欲しいです。



小山さん
(平成 25 年度修了、1 件受任)

松本: 社協から声がかかったらぜひ積極的に引き受けて欲しいです。

楠: 二の足を踏んでいる方がいたら、迷わず踏み込んで欲しい。意外と自分の都合のいい時間に自由に動けるというメリットもあります。



奥: 足立弁護士(権利擁護センターこくぶんじ運営委員長)
右: 木田さん(平成 17 年度修了、1 件受任)

小山: 現在進行形なので、最終的に良かったと思えるような活動をしたいと思います。監督人がついてるので安心感もあります。受任する前は不安でしたが、少しでも役に立つのであれば嬉しいです。福祉に関わっていない方にもぜひ挑戦して欲しいと思います。

足立: 技術や法律知識の点で不安もあると思いますが、そこは社協が監督人に就き、私たち専門職が運営委員としてサポートするので、不安や疑問があればいつでも相談してください。

社協: 今後高齢化社会が進み、障害者の地域生活も進むことで、成年後見制度の利用者は増え、市民後見人の活躍が期待されます。誰もが安心して暮らし続けられる国分寺を目指して、今後も一緒に頑張りましょう。

- ※1 後見人等の事務を監督する者。国分寺市の場合、市民後見人が受任する際は社会福祉協議会が法人として監督人を務める。
- ※2 平成17～25年度まで東京都が養成研修を開催した。国分寺市では平成30年度に初めて独自で養成研修を開催。
- ※3 被後見人等の生活、療養、介護等に関する法律行為を行うこと。その他の業務として財産管理がある。
- ※4 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の担い手のこと。
- ※5 社会福祉法人や社団法人、NPO法人などの法人が成年後見人等になること。



無料専門相談をご利用ください

成年後見制度や遺言・相続・財産管理などの法律相談を無料でお受けします。

ふくし法律相談は高齢者や障害者、そのご家族が対象です。

事前に職員が相談内容をお伺いします。要予約(2日前まで)。

成年後見専門相談	
相談日	12/12 1/9 2/13 毎月第2(木) 午後1時30分～4時30分
相談員	司法書士・社会福祉士

ふくし法律相談	
相談日	11/28 12/19 1/23 毎月第4(木) 午後1時30分～4時30分 ※12月のみ第3(木)
相談員	弁護士

場 権利擁護センターこくぶんじ
(ご自宅や市内の施設等へ出張も可)

問 TEL:042-580-0570

国分寺福祉のしごと相談・面接会 開催!

日 2月23日(日)
14時～17時(予定)

会 リオンホール
(国分寺駅北口駅ビル5階)

国分寺市で福祉や介護のしごとをしてみませんか?

高齢者や障害者、児童の福祉施設等で働ける求人があります。

フルタイムやパートタイムなどあなたに合わせた働き方を、一緒に探しましょう!

参加無料 服装自由

入退場自由

申込不要 年齢不問

マスコットキャラクター「ふくすけ」グッズ販売中!

いよいよ「ふくすけ」のグッズ販売を始めました♪
グッズは、社協窓口(事務局(福祉センター内)・ボランティア活動センター、権利擁護センター)の他、地域でのイベント出店時に購入できます!
グッズの収益は、国分寺市の地域福祉向上のために活用されます。
ぜひお買い求めください!



10月20日に開催された障害者センターまつり(はばたけ!!サンサンゆめまつり)からグッズ販売をスタートしました♪

ふくすけグッズ

- ステッカー 100円
- 缶バッジ 100円
- クリアファイル 100円
- 一筆箋 300円

4点全部が入ったお得な「お楽しみ袋」も 500円
ご用意しています♪

自立生活サポートセンターこくぶんじ「生活福祉資金貸付制度」のご案内

所得の少ない世帯、障害者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的とする社会福祉制度です。

こんなお困りごとを抱えていませんか？

※下記は一例です。

子どもを進学させたいが、
学費の捻出が難しい…



教育支援資金

学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校の授業料や入学する際に必要な費用を貸付け、就学の支援をします。未払いの費用のみ貸付対象とします。

急な入院で、医療費を支払ってしまい、次の給料日まで生活できない



緊急小口資金

緊急かつ一時的に困窮している世帯が、資金の貸付により、その後の生活および返済の見通しが立つ場合であって、一時的に生活困難となった理由が、貸付対象理由に該当する場合に対象です。

今の家に住み続けたい



不動産担保型生活資金

現在お住いの自己所有の不動産（土地・建物）に、将来にわたって住み続けることを希望する低所得の高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金を貸し付ける制度です。

まずは お電話で ご相談を！

- ・予約優先対応のため、必ず事前にご連絡をお願いします。
- ・貸付制度のご利用には収入基準を超えない世帯であること等の要件や、資金種別ごとに申請に必要な書類等があります。
- 詳しくはHPをご覧ください。お問い合わせください。
- ※貸付には審査があり、1か月程度を要します。また、審査の結果により、貸付できない場合もあります。

自立生活サポートセンターこくぶんじ

問 TEL：042-324-8311 月曜日～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時

平成31年度 受験生チャレンジ支援貸付 申込受付中!!

申請締切日：令和2年1月31日(金)まで

※手続きには時間がかかりますので、お早めにご相談ください。

一定所得以下（収入要件あり）世帯の中3生、高3生、それに準じる20歳未満の受験生を対象に、塾代・受験料を無利子でお貸付いたします。⇒それぞれ貸付額の上限あり。

高校、大学に進学した場合、手続きにて返済が免除されます。

※その他にも対象要件あり。まずは窓口までお問い合わせください。

問 TEL：042-324-8311（来所は要予約）受験生チャレンジ貸付担当
月曜日～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時



社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会

〒185-0003
東京都国分寺市戸倉4-14国分寺市立福祉センター内
http://www.ko-shakyo.or.jp

●総務係
TEL:042-324-8311 FAX:042-324-8722
開所時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
Email / info@ko-shakyo.or.jp

●自立生活サポートセンターこくぶんじ
TEL:042-324-8311 FAX:042-324-8722
開所時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

●国分寺市ファミリー・サポート・センター
TEL:042-300-6061 FAX:042-300-6062
開所時間 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

権利擁護センター こくぶんじ

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町3-29-24
TEL：042-580-0570 / FAX：042-576-7081
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
Email / soudan@ko-shakyo.or.jp

今回は2月15日(土)
発行予定です！



アイコンについて 日…日時 場…会場 対…対象 内…内容 講…講師 定…定員 費…費用 申…申込方法 問…問合せ

国分寺社協では「ふくし」への広告掲載を希望される事業者様を募集しています。詳しくは総務係までお問い合わせ下さい（042-324-8311）

ボランティア活動センターこくぶんじ 中長期活動計画

このたび、ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会では、ボラセンを「まちづくりの拠点」とすることを目指していく中で、向こう5年間、市民の皆さんと取り組んでいくための計画を策定いたしました。ここに、全文をご紹介します。

1. はじめに

国分寺市は、東京都のほぼ中央に位置し、市内にはJR中央線・武蔵野線、西武国分寺線・多摩湖線が縦横に走り、なかでも国分寺駅は多摩地域の交通の要所となっています。首都近郊にあって武蔵野の面影を残す住宅都市として、また、緑と水に彩られた文化都市として、さらに、史跡武蔵国分寺跡や東山道武蔵路跡（とうさんどうむさしみちあと）など国指定の史跡がある歴史都市です。

都心への利便性もありながら、地域のお祭りや自治会・町内会活動なども活発で、豊かな地域性が残されています。国分寺駅北口駅前の再開発が進み、今後の発展も期待されています。

ボランティア活動センターこくぶんじ（以下「ボラセン」という。）は、ボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する相談窓口・情報の発信・活動の拠点など、様々な機能を持ち、ボランティアをしたい人（団体）と、支援を必要とする人（団体）をつなげる働き（コーディネート）をしています。

地域社会には、年齢・性別・国籍・障がいの有無などを問わず多様な方々が生活しており、それに伴い様々な課題が生じています。

ボラセンは、『福祉』という範囲にとどまらず、教育・災害支援・市民活動・地域コミュニティなど多岐に渡る様々な活動に取り組んでいます。

ボラセンは市民一人ひとりが、地域での課題を自らのものと考え、自らの手で課題の解決に関わることで、あらゆる人が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に取り組んでいます。

ボラセンは、更なる市民の社会参画を実現するために「中長期活動計画」を立て、5年間この計画に基づいて、市民の皆さんと取り組んでいきます。

2. 基本的な考え方・理念および機能

○ボランティア活動センターのミッション（使命）・目指すもの

『市民の出会い・つながりの拠点（Base）となること』

（“Base”には、拠点・基礎・出発点や起点など、様々な意味が含まれます。）市民がボラセンを起点として地域に主体的に関わるようになり、活動に対する相談や課題等を共有する場として拠り所となることを目指します。

また、地域の拠点となるため、ボラセン職員は積極的に地域に参加し地域の現状を認識することに務め、課題の顕在化を図ります。

○ボランティア活動センターこくぶんじの基本的な機能・役割

- ① ボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する相談窓口
- ② ボランティア活動や市民活動のコーディネート
- ③ HP、ブログ、メルマガ、Twitter、ボランティア活動センターだより等による情報提供ならびに発信
- ④ 活動費の助成、会議室・コピー機・印刷機等の無料貸し出し等による団体活動等の支援
- ⑤ 人と人、地域と地域をつなげるサポートや行政や企業との連携の促進
- ⑥ ボランティア活動や市民活動を学び体験するための場の提供
- ⑦ その他、地域課題解決に向けた活動の創出

3. ボランティア活動センターこくぶんじの現状

○ボラセンのあゆみ

国分寺市社会福祉協議会は昭和51年に東京都ボランティア活動推進モデル地区の指定を受け、「ボランティア・コーナー」を開設しました。

平成3年には、「ボランティアのまちづくり推進事業」の指定を受託し、様々な事業を展開する中でボランティア活動の推進を行ってきました。平成16年に「ボランティア活動センターこくぶんじ」を東元町に開設し、新たな拠点としてスタート。会議室やイベント等に使用する備品の貸出しの他、コピー機や印刷機の利用など、ボランティア活動を行う個人や団体の支援を行い、現在では登録団体が76団体、情報提供カードを提出している個人ボランティアが約300人となりました。

○運営委員会の設置

ボラセンのより良い運営のために、市民・ボランティア・NPO・企業等、多岐にわたる方々の参画による「ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会」（以下「運営委員会」という。）を平成26年4月に設立。年8回の運営委員会を開催する他、シンポジウムの企画・立案やボランティア活動や市民活動の啓発に取り組み、市民参画ならではの細かな視点から、

「新たなまちづくりの拠点」を目指して活動しています。

○シンポジウムの開催

運営委員会では、地域の課題を明らかにするために、平成26年度から28年度の3年間、市内中高生達が、国分寺の未来について日頃から思っている事や感じている事などを熱く語る「田原総一郎と国分寺の未来を語る」を、初めて早稲田実業学校の小室哲哉記念ホールを借りて開催。また、4年目となる平成29年度と30年度は「防災・災害」をテーマに、東京経済大学ボランティアサークル Clover メンバーのサポートを得て市内6校の中学生が、それぞれの地域の特徴を捉えた発表をしました。

○新たなロゴマーク、プロモーションビデオの作成

シンポジウムの企画や運営と連動し、新しい人が社会参加するためのきっかけとなる広報活動を検討・実施しました。

- ・ボラセンのロゴマークの作成・活用
- ・ボラセンプロモーションビデオの作成
- ・ボラセン広報（ホームページ含む）の見直し

○ボラセン運営における取り組むべき課題

- ① ボラセンが多くの人に活用してもらうためにはどうすればよいか。より使いやすいボラセンにするには、何が必要か。
- ② ボランティア及び登録団体の固定化・高齢化。既存の団体の継続支援の方法および新たな団体の開拓や人材発掘・育成の必要性。

4. ボラセンの目指す次期5年間の運営方針（ビジョン）

あらゆる人が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指して、下記の重点項目に取り組みます。

① 「人・まちづくり」を担う地域のコーディネーター役となる

- (1) より多くの市民がまちづくりの場と出会うために学習や活動体験の機会を提供する。
- (2) 市民の気づき、感性を大切にし、市民主体の活動をサポートしていく。
- (3) 市民が相談しやすい地域の窓口を目指し、新たな課題の発掘やその解決に向けた取り組みを行う。
- (4) これからの国分寺のまちづくりを担う「人材」（生徒・学生、実践者、リーダー、応援者など）を発掘・育成し、地域とのつながりを促進する。

② 地域との連携をより強化する

- (1) 公民館や学校などの多様な市民が利用する施設と、より強い関係を構築する。
- (2) 自治会やPTAなどの地縁組織や市民活動団体などとの協力関係をつくる。
- (3) 地域課題の解決にむけて行政と市民や企業などとの協働を促進する。

③ 情報の受発信

- (1) ボラセンをより認知してもらうための、戦略的な広報活動
- (2) 誰もが参加しやすい事業を展開し、より多くの人にボラセンへの理解と活用を促進する。
- (3) ボラセン関係者が地域活動の現場に出向き、情報収集や発信を行う。
- (4) 必要とされる有益で確かな情報の受発信を目指す。

④ 「災害」発生を想定した準備と地域連携の創出

- (1) 災害ボランティアセンターの立ち上げに向けた機能と役割の整理。
- (2) 災害時における具体的な活動に向けて、中学・高校・大学との連携をすすめる。
- (3) 市民の防災意識啓発に向けた市民活動などを支援する。

※平成31年度 第1回ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会において採択

令和元年5月7日
ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会
委員長 枝見 太朗

この計画を基に、毎年の事業計画にも反映させながら、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。

「ボランティア活動センターこくぶんじ（ボラセン）」はボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する総合の相談窓口・情報の発信・活動の拠点など様々な機能があり、ボランティアをしたい人（団体）と、**して欲しい人（団体）**をつなげる働き（コーディネート）をしています。

〒185-0022 東京都国分寺市東元町 3-17-2 TEL.042-300-6363 E-mail:center@ko-shakyo.or.jp





ボランティア活動センター
こくぶんじ

ボランティア活動センター こくぶんじだより

KOKUBUNJI VOLUNTARY ACTION CENTER NEWS

インターネットで検索

こくぶんじ ボラセン



国分寺の未来を考える
シンポジウム

ご来場を
おまちしています!

「地域のつながりがまちを守る PartⅢ

『災害時に役立つ防災マップづくり』を中学生とともに考える

もしも、国分寺で災害が起きたら…!?皆さんはどんな情報を事前に知っていたら安心できますか?

このシンポジウムは、今年で6回目を迎え、「防災・災害」をテーマにしてから3回目となります。

今年も、市内6つの中学校の生徒が、学習会やジュニア防災検定の受検、そして、事前準備会を経て、中学生ならではの発想力と、その地域ならではの情報を集め、オリジナル防災マップを作ります。できあがったマップを地域でどのように活かしていくか…。皆さんも、中学生とともに考えましょう!

今回は、特別ゲストに気象予報士の木原 実さんをお招きし、オープニングトークで、気象に関係する災害のお話をさせていただきます。

災害は、子どもから大人まで、誰もが関係することです。このシンポジウムをきっかけに、防災・減災について考えていきませんか?



昨年のシンポジウムの様子

特別ゲストプロフィール



木原 実氏

気象予報士・防災士・お天気キャスター

1960年

東京都生まれ。

2010年

日本大学学芸学部演劇学科卒。
内閣府「災害被害を軽減する国民運動サポーター」に就任

2016年

オリコンの「第12回好きなお天気キャスター&気象予報士ランキング」で第1位を獲得

現在、気象予報士・お天気キャスターとして、日本テレビ news.every お天気コーナーを担当。
一般財団法人 防災教育推進協会理事などを務める。

日 令和2年3月8日 (日)

午後1時～午後4時 (受付午後0時30分～)

場 cocobunji プラザ リオンホール

(東京都国分寺市本町3-1-1 cocobunji WEST 5階)

内 ① オープニングトーク

講師: 木原 実 さん(気象予報士・防災士・お天気キャスター)

② 中学生の発表&トークセッション

進行 (ファシリテーター): 枝見 太郎さん

((財)富士福祉事業団理事長・ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員長)

定 200名 (先着順) 費 無料 対 興味のある方

申 12月2日 (月) より、

①メール (専用フォーム /HP 及びブログに掲載)

②電話 (TEL: 042-300-6363)

③FAX (FAX: 042-300-6365) のいずれかで

※ FAX の場合は、①氏名 (ふりがな) ②年齢 ③性別 ④住所 (町名まで可)

⑤電話番号・FAX 番号 ⑥何を見て知ったか を必ずご記入ください。

子どもも!
大人も!!
中学生の応援も
大歓迎!

主催: 社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会 共催: 一般財団法人 防災教育推進協会 後援: 国分寺市・国分寺市教育委員会 協力: 東京経済大学ボランティアサークル「Clover」・国分寺市立中学校・早稲田大学系属 早稲田実業学校中等部
企画・運営: ボランティア活動センターこくぶんじ / ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会

【注意事項】▶本事業での cocobunji プラザの駐車場利用は有料です。
なるべく、公共交通機関をご利用ください。

ボランティア活動センター こくぶんじ

〒185-0022 東京都国分寺市東元町3-17-2

TEL: 042-300-6363 / FAX: 042-300-6365

開館時間 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

Email / center@ko-shakyo.or.jp

ボランティア活動センター HP: <http://www.ko-shakyo.or.jp/vc/>

ボラセンブログ: <http://blog.canpan.info/kokubunjivc/>



ボラセンスタッフより

今後のボラセンの予定です!

・12/25(水)～12/27(金)

『冬休みだよ!ボラBase』

・1月初旬

『つながるボランティア講座』

(詳細は、12/1市報に掲載)

